輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

「冬至」太陽の復活！動き始めた２０２３年!!

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

昨夜の雨、今朝は寒さも少し和らぎました。とは言いつつ、今日から 26 日くらいまで、また寒さが厳しくなるとの予報です。ホワイトクリスマスになるかもしれませんね。寒さ、冷え込み、雪等、気を付けたいものです。

さて、今日は二十四節気でいう「**冬至（とうじ）**」。日の出が 7 時 04 分、日の入りが 16 時 53 分となっています。足早に太陽は沈んでいきます。保護者の皆様は、冬至と言えばどんなことが思い浮かびますか。カボチャ、柚子湯、･･･でしょうか。今日は、カボチャを食べ、柚子湯とお思いのお家もあるのではないでしょうか。本日の給食には、カボチャプリンが出されていました。ほんのひと時、季節を楽しむこともいいかもしれません。冬至と言えばカボチャ。調べてみると、「カボチャは、栄養豊富で長期保存がきき、冬の栄養補給になり、冬至に食べると風邪や中風（脳血管疾患）にならない。」とのことです。また、冬至に「ん」のつくものを食べると「運」が呼びこめるといわれており、本日の給食は、にんじん、れんこんの柚子和え、すき焼き風うどんと、『ん』のつくものがたくさん出されています。正に「運盛り」でした。また、「『いろはにほへと』が『ん』で終わることから『ん』には**一陽来復（いちようらいふく）**の願いが込められている」とも言われます。そして、柚子湯には、「『一陽来復』の運を呼びこむ前に、厄払いするための禊（みそぎ）として身を清める」という意味があるそうです。冬が旬の柚子は香りも強く、強い香りのもとには邪気がおこらないという考えもあるようです。先述した「一陽来復」には３つの意味があります。①陰が極まって陽が返ってくること。または冬至。②冬が去り、春が来ること。③悪いことばかりが続いていたが、それが終わり、やっと運が向いてくること。だそうです。冬至の翌日から日が延びるため、中国や日本では、この日は陰の極みで、翌日から再び陽にかえると考えられてきたとのこと。それを「**一陽来復」といい、この日を境に運が向く**とされているようです。悪いことの流れが終わり、これからいいことが続くようになるという運が良い方に向かうという意味だそうです。冬至は、太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が甦ってくることから、太陽が生まれ変わる日と捉えられ、古くから世界各地で冬至の祝祭が盛大に行われていました。太陰太陽暦（いわゆる旧暦）では冬至が暦を計算する上での起点となっています。つまり、太陽を回る地球にとっては、出発点ということになるようです。地球は、一年をかけて太陽を一周します。子供達にもその壮大な宇宙の営みを感じて欲しいと思います。広大な宇宙の中で起こっていることが自分自身の生活に及ぼしている影響を是非身近に感じて欲しいと思います。**冬至は、いわば「復活の日」**と言えるのではないかと思います。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響は続き、心配な状況は続いています。中番小学校としては、「**恐れず、正しく、適切に。**」を基本に据え、日々の感染対策を徹底・継続していきます。このような中、何とか２学期を終えられますのも、保護者の皆様の本校教育への深いご理解とあたたかいご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。「一陽来復」の意味にもありますように、これからいいことが続き､運がよい方向に向くようにと願っております。２学期も残すところあと１日となりました。長い、長い２学期が終わります。**子供達は、この２学期本当によく頑張りました。いっぱい、いっぱい褒めてあげてください。明日、全校生が、元気に、無事に、２学期を終えられますことを願っております。**

保護者の皆様には、子供達の体調・健康管理（怪我・病気等）について、今後もご留意いただきますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。

学校通信　No.４６　令和４年１２月２２日　小野市立中番小学校長　田中康善